

□「2018年3月期 第2四半期 アナリスト・機関投資家向け決算説明会」議事録

日 時：11月7日（火）15時～16時

場 所：ベルサール東京日本橋

説明者：代表取締役社長執行役員 磯貝匡志

代表取締役副社長執行役員 下村秀樹

取締役常務執行役員 庄司健吾

Q. 10月、11月の受注状況と下期の見通しについて。

A.（下村副社長）足元の受注は、苦戦をしている。下期はZEHやMGEOなどでお客様の満足度を高めながら受注単価の向上を図る。あわせて、平準化を進めることで利益体質を高め、通期計画を達成したい。

Q. 中計最終年度（2019年3月期）の営業利益計画達成に向けてのドライバーは何か？

A.（磯貝社長）1つ目は、戸建住宅事業の収益性強化。高所得層をターゲットにした戸建住宅や賃貸併用住宅などの拡販、家具や外構、賃貸管理など建物周辺サービスの充実による付加価値拡大を図っていく。2つ目は、当社に知見のある医療・介護・保育を中心とした複合施設によるコンパクトシティ型まちづくり事業を成長ドライバーと考えている。

Q. 海外事業の展開方法とその際のトヨタホーム（トヨタ自動車）とのシナジーについて、どのように考えているか？

A. 当社の設計・生産を含めた工業化ノウハウを理解し、シナジー効果が期待できる現地パートナーへの出資等を視野に入れて検討している。トヨタホームともお互いの知見を活かして新しい住まいを提案できるようにしたい。

以 上